

授業概要

保育者は、保護者、地域住民、関係機関担当者といった様々な人と出会い、かかわりを持ちます。問題の解決や改善に向けて、これらの人々や関係機関と、ともに考えていく「相談援助」という仕事は、保育者の重要な役割のひとつです。この科目では、相談援助の理論、専門知識、技術を学びます。事例を多く用いて解説し、理論や技術を保育現場で生かせる授業をめざします。

授業計画

第1回	1	相談援助の理論	(1)	保育と相談援助
第2回			(2)	相談援助とは何か
第3回			(3)	相談援助の過程と連携
第4回	2	相談援助者としての基本	(1)	自己覚知
第5回			(2)	他者理解
第6回			(3)	基本的態度、コミュニケーションスキル
第7回			(4)	記録
第8回	3	相談援助の実際	(1)	相談援助を行う前に1（生活課題の把握）
第9回			(2)	相談援助を行う前に2（社会資源の把握）
第10回			(3)	インタビューとアセスメント
第11回			(4)	援助計画
第12回			(5)	実施、評価
第13回	4	事例検討	(1)	児童虐待の事例
第14回			(2)	DVの事例
第15回			(3)	障害受容の事例
第16回		筆記試験		

到達目標

- ・ 相談援助の意義と専門知識を理解する。
- ・ 相談援助の技術を学び、理解を深める。
- ・ 相談援助の過程を理解する。

履修上の注意

- ・ この科目「相談援助」は、保育士資格取得に必要な科目です。
- ・ 講義だけでなく、グループディスカッション、ワーク、ロールプレイを行います。積極的に参加してください。

予習・復習

- ・ 予習 テキストの講義に関する章を読み、疑問点を出しておきましょう。
- ・ 復習 講義で学んだことや気づいたことをまとめておきましょう。

評価方法

- ・ 筆記試験（60%）、授業内レポート（20%）、授業態度（20%）により、総合評価します。

テキスト

学ぶ・わかる・みえる シリーズ保育と現代社会
 『演習・保育と相談援助』第2版 監修 前田敏雄 編集 佐藤伸隆 中西遍彦
 2014 株式会社 みらい